



# 開物成務

郡山市立開成小学校

学校便り No.8

平成30年5月18日

文責：校長 伊藤 孝行

## 短時間の練習で効果的な運動会！

早いもので運動会が終わって一週間になろうとしています。以前にもお伝えしたように今年の運動会は、全校生で練習をしたのは2回だけで、予行を行うこともありませんでした。一見すると例年と同じように見えても中身はだいぶ変わっているのです。



今の学校には、予め決められた枠組みの中で、何がどうできるかを考え、実践するマネジメント能力や学校教育全体を俯瞰的に視て、精選と重点化を図れる力が強く求められています。また、対費用効果やコスト意識など、学校教育には関わりが薄い用語もどんどん導入されるようになりました。

## 不審者対策へのご協力に感謝致します

安全・安心な環境を保つには、「自助・共助・公助」のバランス良い関係を構築することが必要です。「自助」については、学校は子どもたちに、集団での下校や、防犯ブザーの適切な使用法、子ども110番の家への避難等を繰り返し指導しています。「公助」については、警察署、防犯協会、町内会等へ子

どもたちの安全確保を依頼しております。

「共助」については、保護者の皆様へ、お子さんの帰宅時刻に合わせ、戸外に出たの出迎えをお願いしているところでもあります。

以前にも述べましたが、子どもたちが不審者に遭遇するのは、もうすぐ自宅に着くという場所が圧倒的に多いのです。それは、集団で下校していても最後は一人になってしまい、そこを狙われるからです。ですから、自宅前でお子さんを出迎えるということが、不審者対策にはとても有効なのです。これからも、ご協力をお願いいたします。

## 犯罪を防ぐには多くの「眼」で！

以前、夜間に体育館を利用される方が駐車場で車上荒らしに遭って被害が出ているというお話を書きました。それ以外にも、窃盗や空き巣等の犯罪も身近に起きています。

不審者対策同様に、犯罪者が楽に犯罪を起こさせないように、多くの「眼」で監視し、安全確保を図っていく必要があります。

## 鳴らせない防犯ブザー

子どもたちが不審者に遭遇したり、危険を感じたりしたことがあっても、防犯ブザーを使用した例はありません。とっさのことで、防犯ブザーの存在を忘れていたり、間違いを恐れて使用を躊躇したりしているようです。



学校では、「危険や不安を感じたら、まず防犯ブザーを鳴らす。」ように指導をしています。防犯ブザーを持っていただけでは何の役にも立ちません。ご家庭でも同様にお子さんにお話ししていただければ幸いです。